

ニシンの産卵数決定機構

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 水産総合研究センター 公開日: 2024-11-28 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 栗田, 豊 メールアドレス: 所属:
URL	https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2012411

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.



ニシンの産卵数決定機構

海区水産業研究部

研究の背景・目的

1. ニシンの産卵数を正確に調べるための基礎的情報の取得
2. 卵巣内の卵の成長に伴う、卵の吸収過程の解明
3. 魚の栄養状態と産卵数の関係の解明

研究成果

1. 大西洋ニシンは夏に活発に摂餌し、秋～冬は狭い場所（越冬場）に滞留し摂餌を行わない。1月より産卵回遊を開始し、春に産卵
2. 秋に越冬場に移動した直後に活発な卵の再吸収が起こり、親の栄養状態に見合った卵数を産卵
3. 夏にどれだけ摂餌できたかが、翌春の産卵数を決定

波及効果

1. 産卵親魚の栄養状態や体長組成から、個体群の産卵数が推定可能
2. 産卵数の年による変動と環境変動の関係を調べる際に重要な要因の一つとして、前年夏の摂餌量を特定

